畜産経営体質強化計画書 エクセルシステム

年次更新用

操作説明書

目次

<u>I.ご使用になる前に</u>	$\cdots \cdots P 1$
Ⅱ.起動手順	•••••• P 2
Ⅲ. 年次更新	•••••• P 4
Ⅲ. 年次更新 例	••••••••••••••••••••••••••••••••••••••

I.ご使用になる前に

この操作説明書では、前年度に作成した計画書エクセルシステムを基に当年度計画書エクセルシステムを作成する手順や注意事項を説明しています。

- 例として『畜産経営体質強化支援資金』で令和元年度計画書(DC80_R01中畜太郎.xlsm)を年次更新し、 令和2年度計画書(DC80_R02中畜太郎.xlsm)を作成します。
- ●計画書エクセルシステムを使用する上で以下の事を必ず守って下さい。
 - 1. エクセルソフトのバージョンはExcel2016以降を使用して下さい。 それ以前(~Excel2013)では、動作しません。
 - 2. 他にエクセルが起動していない事を確認してから使用して下さい。 計画書エクセルシステム以外にエクセルが起動していると、正常に動作しない場合があります。 必ず他にエクセルが起動していない事を確認してから使用して下さい。

Ⅱ. 起動手順

- ここでは、計画書エクセルシステムの起動手順を説明します。
- 1. 計画書エクセルシステムの起動
 - 『Ⅱ.新規作成手順』で作成したファイル(DC80_R01中畜太郎.xlsm)を開きます。
 (1) DC80_R01中畜太郎.xlsmを選択し、マウスの右ボタンを押してメニューを表示させます。
 メニューの中から「開く(0)]を選択します。

X	
	開く(O)
即以lsm	新規(N)
	印刷(P)
	SAKURAで開く(E)

- 2) マクロの有効化
 - (1) 以下の様なセキュリティ警告のメッセージが表示されます。 メッセージが表示されない場合は、『I.ご使用になる前に 2.マクロを使用できる状態に』を参照して下さい。

	ب ہ	े <u>दि</u> ः				DC80_H	H28中畜太郎.	xism - Excel		サイン	>イ> 🗈	- 0	
ファイル	7	にしん 挿入	ページ レイアウト 数	式		校閲	表示	開発 🖓 🛙	ミ行したい作業を	入力してください		Ŗ	共有
りたけ	₩ 100 -	MS明朝 B I <u>U</u> ~	• 11 • A ⊞ - <u>⊅</u> - A -	Ă ZĨ V	= =	- *		標準 · 雪·% ?	■ ■ 条件付き ■ テーブルと ■ セルのスタ	書式 ▼ して書式設定 ▼ イル ▼	翻挿入 → 副前除 →	$\sum_{\mathbf{v}} \cdot \frac{A_{\mathbf{v}}}{2^{\mathbf{v}}} \cdot$ $\boxed{\mathbf{v}} \cdot \mathbf{p} \cdot$ $\checkmark \mathbf{v}$	
クリップボー	-17-	6	フォント	G.		配置		数値		タイル	セル	編集	~
🪺 të	キュリ	ティの啓告 一部の7	アクティブ コンテンツが無効に	されましま	た。 クリック	すると詳	細が表示され <mark>。</mark>	9. J.J.	フラの有効化				×
CE		v : [v	E.										
			V Jx							, v			
AAB		E CORE	-	-	Ŀi		н	1	J	ĸ	L	M	
1 1	东南部	^{印刷} 家堂休香站化伊浦		記事	n≘⊦ani								
3	00.05	-F		C.ALIG.	- 3	年	-2 年	-1 年	0 年	1 年	2 年	3 年	
4		項	E		実:	徳	実 績	実 績	計画	計画	計画	計画	ā
5 家	族	人員		ŝ									
6	家	族(実人員)		(1)									
7 例		うち酪農・肉用牛部	部門	(J.)									
8 万	雇	用	(延	시민)									-
9		うち酪農・肉用牛部	師門 (延	(日)									-
0	* ++	田	(実面も	₿)(a)									
1	न्ध्रा	畑・樹園地	(実面彩	¥)(a)		_							
2 ±		at .	(美田市	ÆJ(a)		U	U	U	U	U		U	 _
13 地	地	つち信人地	~	(a)									<u>+</u>
4 利	412.84	到料作物作付延面	積 (中華)	(a)									
15	採阜	し成れた地 (1)	(美国特	e)(a)									
<u>6</u> 積	1.1.44	1051百八地	(安売4)	(a) *) (a)									
/	μ ^μ Μ	NR#7 ろと(また、社内1918	tation (and the second s	(a)		-							-
8		フラロパン共同利用	020	(a) (a)		-							-
	•	配列シート	1-1経営体質強化の	計画	1-24	活の計	画 1-3新	所規投資所要資	金内訳 1-4	1買推 🛞			Þ
準備完了	- 6		-							#	巴	+ +	85%

※一度ファイルの保存をするとセキュリティ警告のメッセージは表示されなくなります。

3) メインメニューの表示



ここでは、計画書エクセルシステムの年次更新処理を実行する手順を説明します。

- 2. 年次更新処理を実行します。

和6年度「経営体質強化計画」	
データ入力	印刷サイズ設定
データ入力印刷	現在のサイズ:A4
計画書印刷	
入力票印刷	
入力結果出力	
E次更新	
年次更新	システム終了

2) 次のメッセージが表示された場合、必須入力項目が入力されていません。 『新規入力者用 操作説明書(詳細版)V.借受者情報入力』を参照して下さい。

Microsoft I	Excel	■ ※項目は必須入力項目です。
8	借受者情報入力の都道府県名が入力されていません。	 ①都道府県名 ②融資機関コード ③経営者コード ④経営種類
	ОК	 ⑤経営区分 ⑥経営者氏名 ※データ入力画面の1-1「1. 畜産経営体質強化促進計画 (1)畜産経営体質強化の計画」
		において 労働力家族 雇用の両方が未入力の場合もエラーとなります.

3)以下の年次更新画面が表示されます。



- 4) 『令和2年度計画書シートを以下の名前で作成します。』に表示されているファイル名で次年度用ファイルが作成されます。
 - (1) ファイル名を確認して下さい。 ※ファイル名の変更は行えません。
 - (2)保存先は実行中の令和元年度計画書(DC80_R01中畜太郎.x1sm)と同一のフォルダです。 ※この説明書では『C:¥計画書エクセル¥』になります。
- 5)年次更新処理を行わない場合は『メインメニューへ』ボタンを選択して下さい。メインメニューに戻ります。
- 6) 年次更新処理を行う場合は『実行』ボタンを選択して下さい。 確認メッセージが表示されます。
 - 確認メッセージ1(同一名のファイルが存在しない場合)



- (1) 年次更新を行う場合には「はい」を選択して下さい。
- (2) 年次更新を行わない場合は「いいえ」を選択して下さい。年次更新の画面に戻ります。

7)保存先に既に令和2年度計画書(DC80_R02中畜太郎.x1sm)が存在する場合、以下の確認メッセージが表示されます。 確認メッセージ2(同一名のファイルが存在する場合)



- (1) 年次更新を行う場合には「はい」を選択して下さい。
 ※令和2年度計画書 (DC80_R02中畜太郎.x1sm) は上書きされます。
 (2) ため声がすることが見合いた「いいこと」が思想して下さい。
- (2) 年次更新を行わない場合は「いいえ」を選択して下さい。年次更新の画面に戻ります。
- 8)年次更新処理が終了すると以下のメッセージが表示されます。



9) 令和2年度計画書(DC80_R02中畜太郎.x1sm)が作成されていることを確認して下さい。



Ⅲ. 年次更新 例

3. 年次更新処理を行った時の次年度計画書エクセルファイルは以下のルールで作成されます。 (例は令和元年度計画書から年次更新を行い令和2年度計画書を作成した場合です)

1) 「年度」はシステムにより自動的にセットされます。

2) 前々年度及び前年度「実績」はそれぞれ該当年度の「実績」にコピーされます。

3) 「計画」はそれぞれ該当年度の「計画」にコピーされます。

4) 次年度ファイルの元年「実績」はクリアされて入力項目となります。

※以下の灰色の部分は自動計算項目か参照項目の為、入力はできません。

【令和元年度計画書 (DC80_R01中畜太郎.xlsm)】

1.畜産経営体質強化促進計画(1)畜産経営体質強化の計画

			項	Ħ	28年 実績	29年 実績	30年 実績	元 年 計 画	2 年 計 画	3 年 計 画	4 年 計 画
家	肠	入词	員	(A)	1	2	3	4	5	6	7
336	家	族	(実人員)	(J.)	1.0	2.0	3.0	4.0	5.0	6.0	7.0
万価		うち酪農	豊・肉用牛部門	(人)	1.0	2.0	3.0	4.0	5.0	6.0	7.0
力	雇		用	(延人日)	1.0	2.0	3.0	4.0	5.0	6.0	7.0
		うち酪農	豊・肉用牛部門	(延人日)	1.0	2.0	3.0	4.0	5.0	6.0	7.0
令和	12左	F度計	·画書(DC8	0_R02中畜太郎.x1	.sm) 🖌						
合和 1.2	12 ^左 畜産	F度計 経営体	·画書(DC8 香菇化促進計画	0_R02中畜太郎.x1 i(1)畜產餐営体質強化:	.sm) 】 D計画 29 年	30年	元年	2 年	3 年	4年	5 年
合和 1.3	12 ^左 畜産	F度計 経営体所	·画書(DC8 香菇化促進計画 項	0_R02中畜太郎.x1 i (1)畜產餐営体質強化: f	.sm) 5計画 29年 実績	30年 実績	元 年 実 績	2 年 計 画	3 年 計 画	4 年 計 画	 5 年 計 画
合和 1.3 家	12 ^左 畜産	F度計 経営体第	·画書(DC8 貫強化促進計画 項 員	0_R02中畜太郎. x1 i (1)畜産経営体質強化: f (人)	.sm) 】 29 年 実績 22	30年 実績 3	元 年 実 績	2 年 計 画 5	3年 計画 6	4 年 計 画 7	5年 計画 8
合和 1. 家	12 ^在 畜産 勝 家	F度計 経営体射	·画書(DC8 貫強化促進計画 項 <u>月</u> (実入員)	0_R02中畜太郎. x1 i (1)畜產餐営体質強化: f (人) (人)	.sm) 】 29年 実績 2.0	30年 実績 ³ 3.0	元 年 実 績	2年 計画 5.0	3年 計画 6 6.0	4 年 計 画 7 7.0	5年 計画 8.0
合和 1.2 家 労働	12左 畜産 勝 家	F度計 経営体射 … 人 族勝	画書(DC8 百強化促進計画 項 <u>員</u> (実人員) &、肉用牛部門	0_R02中畜太郎. x1 (1)畜産餐営体質強化: 目 (人) (人) (人)	.sm) 】 29年 実績 2.0 2.0 2.0	30年 実績 30 3.0 3.0	元 実 績	2 年 計画 5 5.0 5.0	3年 計画 6 6.0 8.0	4 年 計 画 7 7.0 7.0 7.0	5年 計画 8.0 8.0 8.0
□ 和 1. 1. 家 労働力	12 ^左 新 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「	手度計 経営体射 … 人 うち酪農	画書 (DC8 百強化促進計画 項 <u>員</u> (実人員) 載·肉用牛部門 用	0_R02中畜太郎. x1 (1)畜産餐営体質強化: 目 (人) (人) (人) (私) (延人日)	sm) 】 29年 実績 2020 2.0 2.0 2.0 2.0	30年 実績 3.0 3.0 3.0 3.0	元 実 績	2 年 計 画 5 5.0 5.0 5.0	3年 計画 6 6.0 6.0 6.0 8.0	4 年 計 画 7 7.0 7.0 7.0 7.0 7.0	5年 計画 8.0 8.0 8.0 8.0 8.0

5)経営者の年齢と後継者の年齢は自動的に1才アップします。 (1)借受者情報入力

農·肉用牛借受者情報入ス	b ×	酪農·肉用牛借受者情報入力	
 * 都道府県名 市町村名 * 融資機関コード * 融資機関コード ※ 農協名(融資機関名) ※ 経営者コード ※ 経営者氏名 ※ 後継者有無 ※ 経営種類 * 春色申告の有無 <以下、該当する項目は ※ 「 の畜産りうスター協調 ※ 「 の畜産りうスター協調 ※ 「 の畜産」CT化応 応援会議名: ※ 「 の認定農業者 	02 青森県 ※ 振興局名 ですと市 1234 ですと農協 0000000001 (全角16丈室) 1 有り (全角16丈室) (主人) (全角16丈室) (主人) (全角16丈室) (主人) (全角16丈室) (主人) (主人) (主人) (主人) (主人) (古人) (古人) (古人) (日本) (日本) <th>※ 都道府県名 02 青森県 ※ 振典局名 市町村名 ですと市 ※ 融資機関コード 1234 ※ 融洽名(融資機関名) ですと農協 ※ 超高者コード 0000000000 ※ 経営者二部 61 ※ 経営者氏名 中畜大郎 (全国10文子) ※ 経営者年齢 ※ 経営種類 10 略農 ※ 香色甲告の有無 2 無し、 <以下、該当する項目にチェックを入れてください。> ※ 「 の畜産りラスター計画に位置づけられた中心的な器営体 畜産クラスター協議会名: ですと協議会 ※ 「 の畜産りてんた壊計画に位置づけられた中心的な器営体 ※ 「 の畜産してれた壊計画に位置づけられた労働負担軽減経営体となることできない合理的な理由を記入してくたさい。</th> <th></th>	※ 都道府県名 02 青森県 ※ 振典局名 市町村名 ですと市 ※ 融資機関コード 1234 ※ 融洽名(融資機関名) ですと農協 ※ 超高者コード 0000000000 ※ 経営者二部 61 ※ 経営者氏名 中畜大郎 (全国10文子) ※ 経営者年齢 ※ 経営種類 10 略農 ※ 香色甲告の有無 2 無し、 <以下、該当する項目にチェックを入れてください。> ※ 「 の畜産りラスター計画に位置づけられた中心的な器営体 畜産クラスター協議会名: ですと協議会 ※ 「 の畜産りてんた壊計画に位置づけられた中心的な器営体 ※ 「 の畜産してれた壊計画に位置づけられた労働負担軽減経営体となることできない合理的な理由を記入してくたさい。	
□ @簿記記帳を行・ 《項目は必須入力です	っている(又は行うことが確実と見込まれる)	「 @ 簿記記帳を行っている(又は行うことが確実と見込まれる) ※項目は必須入力です 登録	₽止

(2) 5-1「1 経営体の概要」

【令和元年度計画書(DC80_R01中畜太郎.xlsm)】

	てすと農協					後継者の有無(年齢)	有	(30才)		
借入希望者氏名(年齡)	中畜太郎	(60才)		青色申告の有無						
							※後継者は現に酪農・	·肉用牛組	K営に従 <mark>事して</mark>	ていること
1 経営体の概要										
労働力	力構成	年間	命	酪農・	肉用牛	経営	年間従事日数]		
(括弧内は、経営主の家族は糺	売柄、それ以外は性別を記入)	(才)	の従事な	年数(年)	(日)			
経営主	(本人)		60					1		
			· ·				1	1		
【令和2年度計画書(DC80_R02中畜太郎.xls									
融資機関名	てすと農協						後継者の有無(年齢)	有	(31才)	
借入希望者氏名(年齢)	中畜太郎				(61	才)	青色申告の有無		無	
							※後継者は現に酪農・	肉用牛組	経営に従事して	ていること

1 経営体の概要

労働力構成	1	羊齢	酪農・肉用牛経営	年間従事日数
(括弧内は、経営主の家族は続柄、それ以外は性別を記入)	((才)	の従事年数(年)	(日)
経営主(本人)		61		

6) 次のデータ入力画面の表側の『年度』は貸付年度の為、年次更新処理を行っても変更されません。

(1) 3-2「3. 資金計画・(2) 畜産経営体質強化支援資金借換額の内訳」

3.資金	合計画	(単位:千円)							
R		分	農業近代 化資金	公庫資金	その他 制度資金	農協系統 一般資金	一般金融 機関資金	計	
28	年	度						0	
29	年	度		貸付年度σ)為 変更され	れません		0	
30	年	度		gn r⊘•₂		05 270		0	
元	年	度						0	
2	年	度						0	
3	年	度						0	
4	年	度						0	
5	年	度						0	
6	年	度						0	
7	年	度						0	
8	年	度						0	
合		計	0	0	0	0	0	0	

注1 借換額を資金別に記入する。

2 「4.既住借入金年次別約定償還表」の資金使途欄をチェックし、酪農・肉用牛経営に係る資金であることを確認する。

(2) 5-3,4「3 畜産経営体質強化支援資金で借り換える資金の契約内容」

年	借換対象資金名	借入年(年)	金融機関名	資金の使途	前年末残高(千円)	当年約定償還額(千円)	約定償還月(月)	最終償還年(年)	今回借換額(千円)
0 Q (F									
		-						_	
	it								0
29年									
			_		_	-	_	-	
	āt .								0
30年			└──── 貸付年度	の為、変更されません 🗕					
	=1				-	-	-		0
	1	F							U
元年									
	Į+			— —————					0
				_ _					
2年									
	it.			— ———————					0
24									
34									
	it								0
4年									
					_	_	_	_	
	āt .								0
5年 -									
	E+		_		-	-	-	-	0
	āl								0
6年									
	Į†								0
		<u> </u>							
7年									
	≣†								0
8年									
0 <i>4</i>					_	_		_	
	≣ †								0

3 畜産経営体質強化支援資金で香り換える資金の契約内容



(3) 5-3, 4「4 新しい経営展開に伴い必要となる支出の内容」

7)5-8「8 定量的な成果目標及び成果目標を実現するための取組の内容」の『年目』は、 成果指標の内容並びに定量的な成果目標の現状値及び借換えの年から起算して5年目までの毎年の目標値なので、 年次更新を行っても変更されません。



※ 成果目標の達成のための毎年の取組内容を具体的に記載すること。